

もう一つのお金の流れを知る

～意志のあるお金とは～

「もう一つのお金の流れを知る」講演会実行委員会

代表 G類美術3年古川拓明

目次

1. 今のお金の様々な課題
2. 現在の金融認識
3. もう一つのお金の流れとは
4. 持続可能な環境保全事業へと
5. 講演会開催の意義と内容
6. その後の活動展開
7. まとめ

1. 今のお金の様々な課題

- マネーゲーム

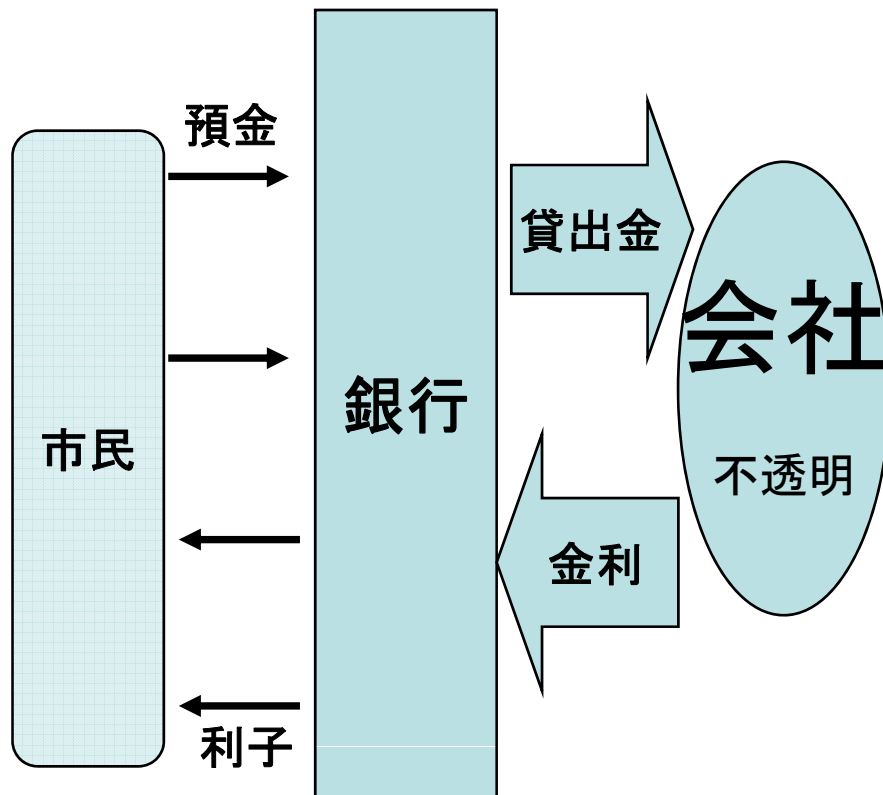
世界のお金の半分を裕福な上位1%が所有している。また現在買い物などで使う現金通貨は全通貨の1%でしかなく残りの99%は電子上の取引で流通しているといわれる。

- 金利が肥大化する営利金融

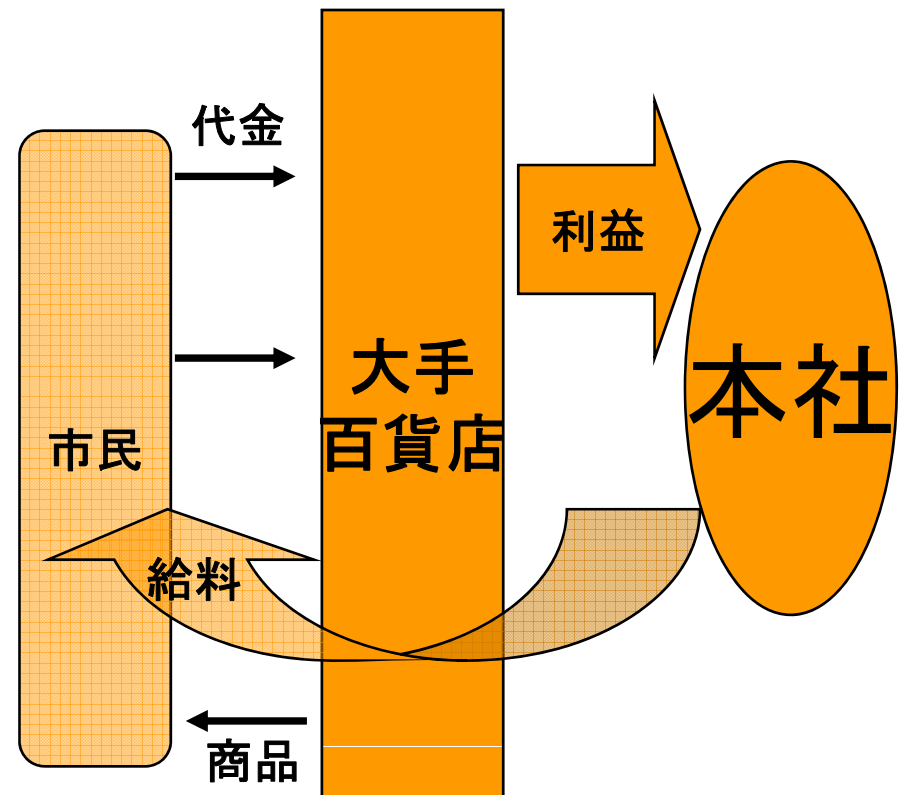
金利の機能によって架空のお金(=借金)が発生し続け、実物の量を越えてお金が大量に発生している。

2. 現在の金融認識(営利金融)

銀行を通るお金の流れ

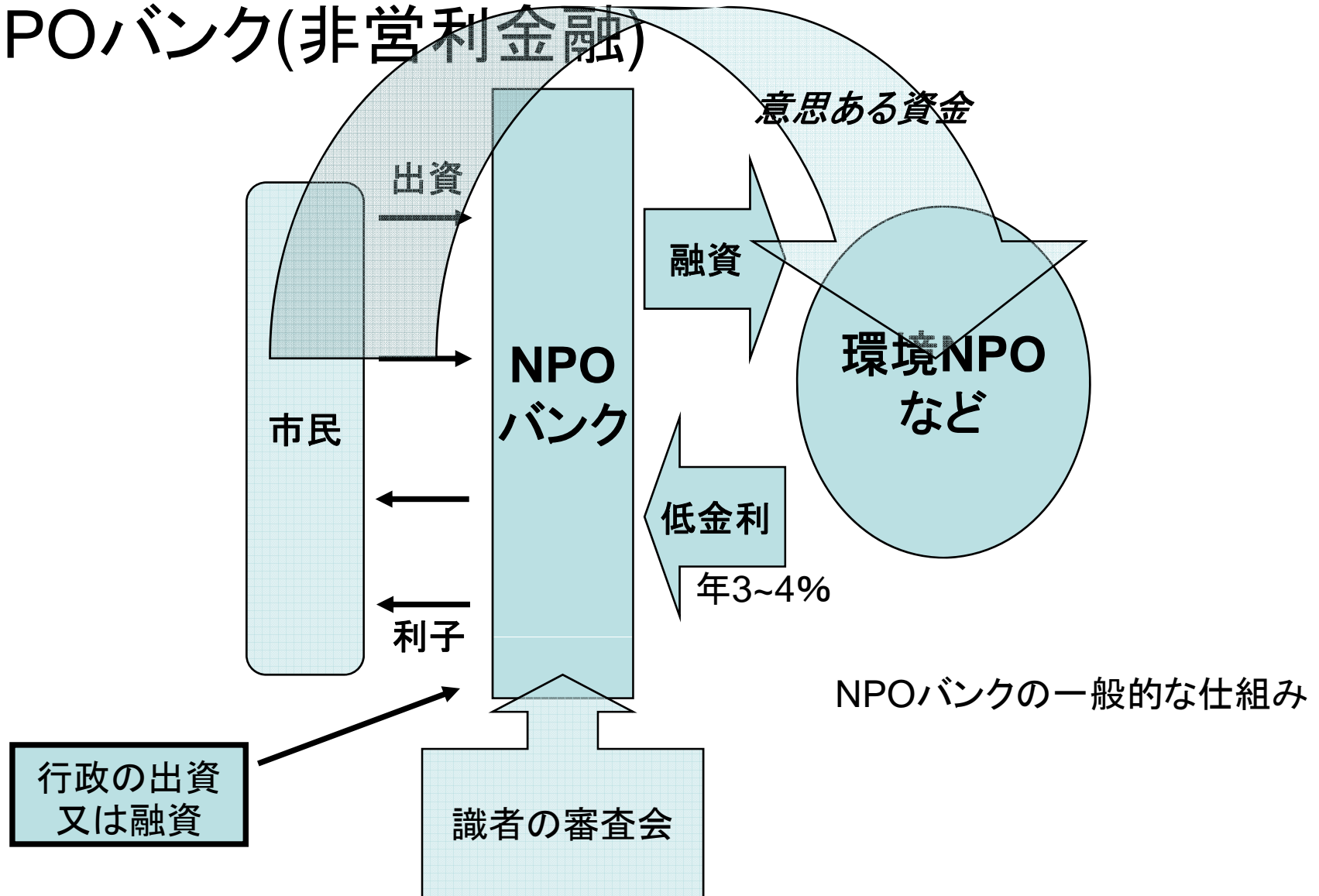


商品購入と給与によるお金の流れ

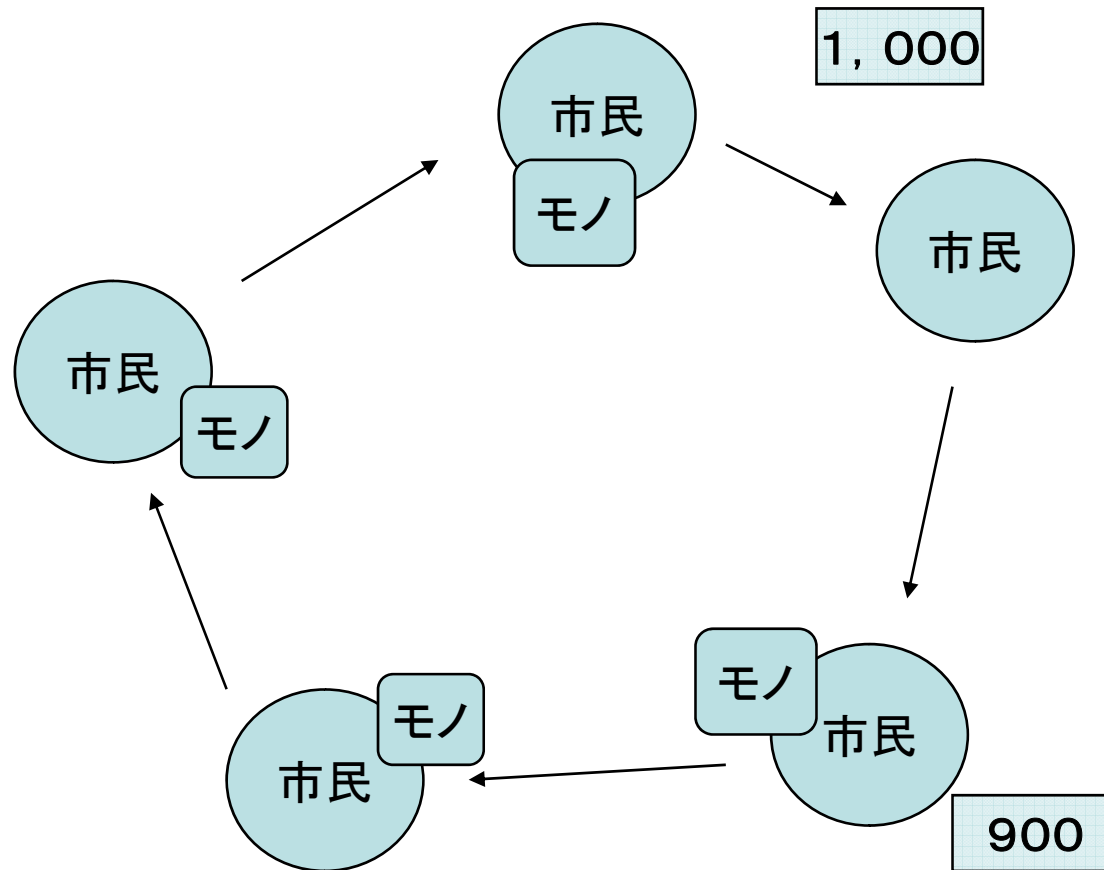


3. もう一つのお金の流れとは

- NPOバンク(非営利金融)



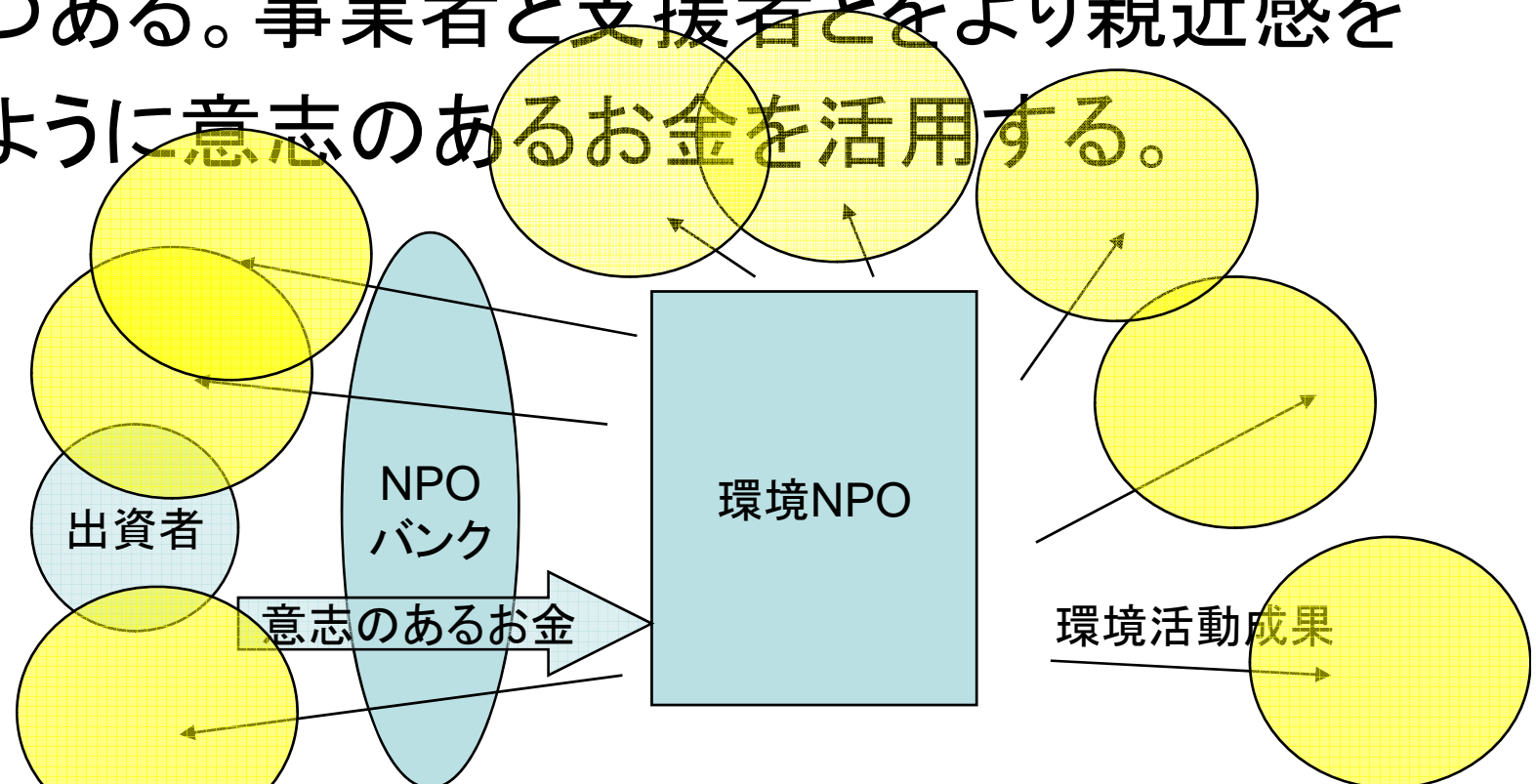
- 地域循環式通貨



3. もう一つのお金の流れとは

4. 持続可能な環境学習活動へと

- 意志のあるお金による事業の成果を実感する。現在環境NPO,NPOバンクと徐々に基盤は構築されつつある。事業者と支援者とをより親近感を持てるように意志のあるお金を活用する。



5. 講演会開催の意義と内容

- 意義

もう一つのお金の流れを実践するための準備段階として、意志あるお金の研究と周知を行う。

- 内容

APbank理事・見山謙一郎氏とゲゼル研究会代表・森野栄一氏の対談による講演会

6. その後の活動展開

今年度

- 講演会後のスタディツアー

来年度

- 講演会と研究の結果から、意志のあるお金の流れを実施
- 活動拠点での報告会など

7. まとめ

営利金融の危険性を提示



もう一つのお金の流れ＝意志のあるお金の流れ
・NPOバンク ・地域通貨



意志のあるお金の活用による持続可能な環境学習活動



事業の持続に関して意志のあるお金の周知と研究が必要



周知と研究を兼ねてNPOバンク、地域通貨の第一人者を呼び講演会を行う



講演会の成果とその後のスタディツアーによって、来年度実施へと活動展開

もう一つのお金の流れを知る

参考文献 「金融NPO－新しいお金の流れを作る－」 藤井良広 岩波新書

「地域づくり新戦略－自治体格差社会を生き抜く－」 片木淳、藤井浩司、森治郎 一芸社

参考資料 東京学芸大学とみずほフィナンシャルグループによる金融教育に関する共同研究活動報告書